

# 北陸石仏の会々報

第 13 号  
平成8年3月15日発行

編集発行

北陸石仏の会(日本石仏協会北陸支部)

代表 久世 嘉太郎

〒939-13 富山県砺波市太田一七七〇 尾田武雄方  
電話 〇七六三一三二一―二七七二  
振替 〇〇七四〇―二二一―一九七四

## 義賢上人の六字名号碑

久世 嘉太郎

思わぬ事より義賢上人の研究をすることになりました。

津幡ライオンズクラブで埋れた文化財をテーマとして取り上げた時のこと、先づ俱利伽羅合戦に於て戦死した平家の大将平知度(ともりの)の首塚をPRしようとい力を入れたところ、そこに南無阿弥陀佛の六字名号碑があり義賢と記されている。

義賢とは何者なのか? 近くに十村役の新田家があるのでその先祖ではないかと思ひ、新田家の墓へ行きましたところ、ここにも義賢の名号碑がありました。

又俱利伽羅峠三十三観音の法要を有聲寺(津幡)にて行いましたところ、ここにも義賢の碑がありましたので浄土宗の僧ではないかと思ひ金沢市内浄土宗寺院を探しましたら五基ほど見付けましたので浄土宗本山知恩院に問い合わせたところ不明と返事が来ましたので自分なりに研究することにしました。

京田先生や滋賀県の松村雄介先生の御研究によれば、義賢は天

保十一年頃(一八四〇) 近世後期に活躍した木食(念仏行者)で経歴は不明の部分が多い。「明治往生伝」(唯念の事跡を記した書)によれば、唯念は文政四年(一八二二)に富士山で修業している義賢を訪ね、師事したと記されている。

「唯念行者と唯念寺」芹沢伸二の書には、義賢が富士山で入定を意図していたことを示す文章とか、死の前年とみられる天保十年(一八三九)に、富士山頂で行をした記録があるからである。富士山東麓には義賢をまつる寺院があり、義賢の筆になる名号軸や名号碑は富士山麓にも多い。北陸では、滋賀・岐阜・石川・富山の各県域にも散在する。特に富山県立山芦峯(あしくら)寺の布橋の名号碑を見るに、立山に修業の場を求めたものと思われる。

二十五年ほどさかのぼり、文化十二年頃(一八一五) 徳本上人が北陸地方布教の為、各地に数多くの名号碑を残している。その字体より推察すれば、義賢も徳本の弟子として来訪しているの、後になり同じ道を訪ねたものと思われる。

特に有聲寺(津幡)には徳本をしたい名号碑に御旧跡と記されている。



石川県

金沢市内

法船寺	石碑	中央通	11	46
大蓮寺	軸	野町	2	11
念西寺	石碑、軸	泉	2	12
成学寺	軸	野町	1	11
浄安寺	石碑	寺町	5	15
覚源寺	軸	菊川	2	18
玄門寺	石碑、軸	東山	2	14
誓願寺	軸	東山	2	19
慶覚寺	石碑	米泉町	8	81

津幡市内

名号碑所在地一覽

(平成七年現在)



義賢上人肖像

富山県黒部市光明寺藏

新潟県  
善導寺

石碑 高田地区寺町二丁目

福井県  
善精院

軸 武生市京町2-1-8

高岡市  
極楽寺

石碑二基 本町坂下町

立山町  
雄山神社裏仏事会館

石碑 立山町宮地

布橋横  
布橋横墓地

石碑二基 芦峯寺

閻魔堂  
布橋横

石碑(自然石) 芦峯寺

徳成寺  
閻魔堂

石碑 芦峯寺

立山町  
徳成寺

石碑 西大森536

空き地  
称名寺(廃寺)跡

石碑 婦中町萩島地内

富山県  
富山市

石碑、軸 梅沢町3-12-24

来迎寺  
医王寺

石碑 四方町西岩瀬180

称名寺(廃寺)跡  
空き地

石碑 石田町

富山県  
小矢部市

石碑 中央町1-34

大念寺  
旧北陸道坂又

石碑 板又道路横

富山県  
黒部市

石碑 井上地内中須加

富山県  
新田町

石碑 倉見地内

富山県  
知度町

石碑 平谷地内

富山県  
中須加

石碑 竹橋子34-乙

富山県  
有聲寺

石碑 有聲寺

富山県  
新田町

石碑 新田町

富山県  
知度町

石碑 知度町

富山県  
中須加

石碑 中須加

富山県  
有聲寺

石碑 有聲寺



## 北陸石仏の会第十三回例会報告

十二月三日第五回総会を兼ねて、例会は富山・石川県境の俱利伽羅不動寺で開かれた。

幸い積雪もなく曇空でしたが時間まで27名の会員が到着した。午前中予定の総会を会場が写経会で使用中だったので午後に変更し、手向神社神殿から見学をはじめた。越前石製の石殿を専門家の大久保まさ子さんに解説してもらいました。

手向神社裏には神仏分離以前のご神体「剣に蛇の纏へる神体」と思われる石造の龍の破片や蓮台が集められた土盛がある。

久世嘉太郎氏から、この遺跡はどの町の帰属になるか、はっきりしてないので整備できないとの説明があった。

観音堂には俱利伽羅峠三十三観音のうち、二十番、三十番、十八番、三十二番がある。

二七メートルの三角点がある頂上の四社権現に詣でる。四棟の石殿があり左から二棟目の背面に「延宝五年」「四社建立」「九月」「松平加賀守綱利」の刻銘がある。

この一社で四社を祀るものであったが後に三棟を増建して一棟一社とし、先に見た手向神社を入れて五社権現と総称された。

不動寺本堂前を東に進むと「安産不動尊」と表示された小祠に「元禄十三年九月朔日」刻銘の不動明王がある。元は北陸道脇にあったもので、なんとか元位置に遷座できないだろうか、小矢部市で「俱利伽羅峠三十三観音めぐり」を発刊された（ふるさとグループ）の会員さんが願っておられた。

(次頁へ)

### 第13回例会出席者

加藤永子 中川 達 大野猪策 上田信子 野上英子 埜村輝子  
 大浦美子 小竹一夫 京田千鳥 島倉千春 林 貞子 平井一雄  
 真野外喜夫 柳沢栄司 久世嘉太郎 久世文子 板坂 孝  
 南 金三 筆 昭子 中嶋昭子 大久保まさ子 辻角紀子  
 毛利直枝 滝本靖士 島倉初美 岡田静子 荒井義明 島 留男





不動寺入り口へ戻って、新道分岐点の六地藏を見る。新しいものに見えるが神仏分離まで長楽寺にあったというから幕末の建立だろう。道を寺に向かって進むと右側に丈の低い小祠があり越前石製の浮彫座像がある。

梵字丞(タラク)が刻してある虚空蔵菩薩である。地元ではかつて峠にあった「勝手明神」の神像とつたえている。

一回りしたところで昼食時になり不動寺の茶店で(くりからそばとおにぎり)をとる。

午後から総会に入り、新会長に久世嘉太郎氏を選出し、新役員人事が承認された。

配布資料「俱利伽羅峠の石仏」の解説と小矢部市教育委員会婦人ボランティア育成講座「石仏調査」で活動された林貞子さんの経験談発表で机上学習も充実したものになった。

(H8・1・3 平井記)



〈石仏紹介〉



經典供養塔・法華石経塚

富山県射水郡下村加茂・海翁寺

小さい石に經典(この場合は法華經)の文字を一字づつ墨書して埋納し、上に五輪塔をもじった塔を建てたもので、仏像の一つ一つはよくわからないが、なかなか斬新な意匠で、注目すべきものである。釈迦入滅後の五十六億七千万年の弥勒菩薩下生の時まで、釈迦の教えを残そうとするものである。この形の石経塚は他では見られない珍しいものである。

(柳沢)



平成8年度予算書

役員構成

収入の部

前期繰越金	4,526	
会費	200,000	2,000×100名
雑収入	1,474	利息
合計	206,000	

顧問	京田良志 (富山県)
会長	久世嘉太郎 (石川県)
副会長	北村市朗 (福井県)
	柳沢栄司 (富山県)
事務局長	尾田武雄 (富山県)
	滝本靖志 (石川県)
	大久保まさ子 (福井県)
	島倉千春 (富山県)
監事	平井一雄 (富山県)

支出の部

事務費	27,000	事務用品、コピー代
会報費	130,000	会報代
予備費	49,000	
合計	206,000	

平成7年度決算報告

収入の部

平成7年12月3日

項目	予算	決算	備考
前期繰越金	58,609	58,609	
会費	250,000	190,500	
例会剰余金	0	22,410	
雑費	1,350	886	利子
合計	309,959	272,405	

支出の部

項目	予算	決算	備考
事務費	27,000	27,639	コピー代、タックシールなど
会報費	130,000	130,910	No.9, 10, 11, 12会報
郵送費	61,000	70,592	切手およびはがき
予備費	91,959	38,738	藤村会長香典、封筒、振込用紙
合計	309,959	267,879	

収入合計 支出合計  
 272,405 - 267,879 = 4,526  
 次年度繰越金 4,526円

(参考)

No.9会報代金	31,000
No.10会報代金	40,685
No.11会報代金	30,385
No.12会報代金	28,840
合計	130,910

平成7年11月26日

平井一雄 印



北陸石仏の会平成8年春の石仏旅行

|| 越中東街道の石仏めぐり ||

平成8年5月12日(日)

富山駅北口 バスに乗車 九時出発

① 細入村猪谷「関所館」見学

コース説明、資料配布、会費徴収 会費 五千円(バス代、資料代、その他費用)

② 大沢野町舟渡 素盞鳴社周辺

道祖神、薬師、大日、弘法、金精様

③ 東猪谷まで徒歩で散策

道祖神、大日、馬頭、薬師、三夜様、寛明名号塔、金比羅

④ 宝樹寺境内で昼食

境内石仏 徳本名号塔、明和の名号塔(祐天碑か?)、勢至菩薩

⑤ 東猪谷南端の道祖神・大日石仏群まで徒歩

大日、不動、金比羅、半僧坊、水天明王、バスに乗車

⑥ 岐阜県神岡町牧の石仏

道祖神、庚申塔、大日、役の行者碑

⑦ 東漆山地蔵堂周辺の石仏

道祖神、大日、庚申塔、不動、地蔵

帰路 富山駅北口着 四時

※昼食は各自持参して下さい。

ご案内

● 年度が改まりました。

平成8年度の会費を、同封の振り込み用紙にてお送り下さい。二年滞納になりますと、自然的に退会とみなします。

● 当会員の深山節代さんが交流詩誌『はなせんか』を出版されました。たのしい冊子です。ご希望のかたは、〒930富山市本郷町一区二〇二一ー一 深山節代さんまで 宛〇七六四一二二一四九五七

● 東京方面から、加藤孝雄氏が富山へ石仏を探訪に来られます。

石仏同好会からのお知らせ  
一九九六年度石仏同好会旅行予定  
第53回 砺波平野の石仏 2泊3日  
期日 5月17日(金)〜19日(日)  
会費 (a)九八、五〇〇(東京)  
(b)七八、〇〇〇(富山A.P.)  
(〒180 武蔵野市吉祥寺東町一―九一三 加藤孝雄)

